



第3四半期決算発表

単体決算は増収増益!!営業収益・運輸収入は、5期連続の増収で、第3四半期決算としては過去最高!



勝ち取るう!2017賃金引き上げのたたかい! ③

JR東日本は、1月30日に「2016年度第3四半期決算」を発表しました。単体決算は、第2四半期では「増収減益」でしたが、第3四半期では「増収増益」となりました。また、第2四半期に続いて、営業収益と運輸収入は5期連続の増収となり、第3四半期決算としては過去最高となりました。

営業収益・運輸収入・・・そして第3四半期純利益も過去最高

単体決算は、第2四半期同様、新幹線鉄道大規模改修引当金繰入などの費用増があったものの、災害に伴う受取保険金の増加などにより好調な業績結果となりました。

これは、日々、安全・安定輸送と収入の確保のために働くグループ会社を含めたJR労働者の努力の結果であります。

しかし、その努力・労苦が私たち社員、労働者に還元され、生活が改善された実感できているかと言えば、必ずしもそうではないという人も多いのではないのでしょうか。

第3四半期決算の概要と比較 (単位: 億円)

		15年度実績	16年度実績	増減金額	%
単体	営業収益	15,533	15,616	83	100.5
	うち運輸収入	13,679	13,757	77	100.6
	営業利益	3,764	3,583	△ 180	95.2
	経常利益	3,366	3,197	△ 168	95.0
	四半期(当期)純利益	2,243	2,279	36	101.6
連結	営業収益	21,495	21,613	117	100.5
	営業利益	4,347	4,156	△ 190	95.6
	経常利益	3,857	3,688	△ 169	95.6
	親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,481	2,531	49	102.0

生活改善のため、賃金引き上げ、要求満額獲得を勝ち取るう!

経団連主催の「労使フォーラム」が1月23日から開催され、連合会長と経団連会長がそれぞれ講演し、賃上げに対する考え方などを述べました。連合側が「ベースアップの実施」を強く求める一方で経団連側は「年収ベースでの賃金引き上げ」を呼び掛けるなど、ともに賃上げの必要性を強調しつつもベアに対する考え方の隔たりが見られました。

そのような中、電機メーカーの労働組合で構成する電機連合は1月26～27日で中央委員会を開き、定期昇給を確保した上で3,000円以上のベースアップを統一要求とする方針を決定しました。

私たちも社員、組合員への還元を求めて職場から声を上げ、一人ひとりの想いと力を結集し、賃金引き上げ、要求満額獲得を勝ち取っていきましょう!